

教科	国語	科目	現代文B	学年	2年(普通科 探究類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B			出版社名	第一学習社	
	副教材	常用漢字クリア(尚文出版)					

学習の目標	1 「言葉」についての関心を深め、自らのものの見方・感じ方・考え方を深めます。 2 読書に親しみ、文章を読む楽しさを味わい、国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てます。 3 言語感覚を磨き、話したり書いたりする能力を身に付けます。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 自己を見つめる	○随想を読み、筆者の考え方や感じ方を的確に読み取ります。	中間 考査
	5月	小説を読む(一)	○小説の世界に触れ、特有の表現や描写を味わいます。	
	6月	新しい発見	○情景や心理描写に注意しながら小説を読み、描かれた世界を的確に捉えます。	
	7月		○評論を読み、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉えます。 ○ヒトの進化の過程と、現在や未来の人類の姿とを重ね合わせ、自分の生き方や姿勢を考えます。	
2 学期	8月	詩を味わう	○詩歌を読み、それぞれリズムや表現の特徴を味わいます。	中間 考査
	9月	小説を読む(二)	○作品のテーマを的確に捉え、それを自身の問題として考えます。	
	10月	言葉と生活	○小説を読む楽しさに気づき、日々の生活の中で読書する習慣を身に付けます。	
	11月	人間と文化	○評論を読み、そこに提示された問題を正確に把握し、理解します。	
	12月		○人間や文化について、自分の考えを述べるために、筆者がどのように思考し整理しているかを把握します。 ○筆者の主張を読み取り、身近な文化について自ら考えます。	
3 学期	1月	自己を見つめる	○具体的事例から筆者の主張を読み取りまとめます。	学年 末考査
	2月	小説を読む(三)	○小説を読んで、場面の展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取ります。	
	3月		○小説に描かれた人物の思考や行動を通して、人間の在り方、生き方についての考えを深めます。	

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的・課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 メモや図示を使い、学習した内容が記憶に残るノートを作りましょう。 3 考査前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。
-----------	--

教科	国語	科目	古典B	学年	2年(普通科 探究類型 文系)	単位数	3
教材	教科書	新編 古典B 言葉の世界へ			出版社名	教育出版	
	副教材	これからの古典文法【改訂版】(尚文出版) 短期集中シリーズ 漢文ノート(桐原書店)					

学習の目標	<p>1 古典に親しみ、古文と漢文を読む能力を養います。</p> <p>2 古文と漢文をバランスよく学ぶことで、日本文化について考え、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、人生を豊かにする態度を身に付けます。</p>
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	古文編 I部 一 不思議な話 説話	○古典の学習方法を身に付けます。 ○作品の時代や社会に対する認識を深め、古典の面白さを読み味わいます。	中間 考査
	5月	漢文編 I部 一 機知と笑い	○訓読に慣れ、正確に現代語訳できる力を養います。	
	6月	古文編 I部 二 感性のはばたき 随筆	○作者のものの見方、感じ方を表現に即して的確に読み取ります。	
	7月	漢文編 I部 一 機知と笑い	○漢文の基本的な語彙や句法に習熟するとともに、晏子の機知の面白さを表現に即して読み取ります。	
2 学期	8月	古文編 I部 三 人を思う時 物語	○作品中の和歌に登場人物の思いがどのように表現されているかを考えます。	中間 考査
	9月	漢文編 I部 二 項羽と劉邦	○項羽と劉邦を中心とした多様な登場人物の描写を読み味わい、人物像を捉えます。	
	10月		○当時の中国の歴史的背景について学びます。	
	11月	古文編 I部 四 日々の記憶 日記	○平安期の日記を読み味わい、当時の人々のものの見方や感じ方を読み取ります。	
	12月	漢文編 I部 四 文を味わう	○句形や語彙に注意して、描かれた作品世界を読み味わいます。	期末 考査
3 学期	1月	古文編 I部 六 戦いをめぐる人間像 平家物語	○登場人物の行動とその背景になる心情を読み取り、武士の生き方について考えます。	学年 末考査
	2月			
	3月	漢文編 I部 五 さまざまな思想(一)	○中国の思想家たちのそれぞれの主張を表現に即して的確に読み取ります。	

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情を的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	<p>1 語句の意味調べやプリントなどの予習をしっかりと授業に臨みましょう。</p> <p>2 発表・質問をするなど、授業に積極的に取り組みましょう。</p> <p>3 課題は遅れず確実に提出しましょう。</p>
-----------	--

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	2年(普通科 探究類型 文系)	単位数	4
教材	教科書	詳説日本史 改訂版			出版社名	山川出版社	
	副教材	最新日本史図説(第一学習社)、要点整理ゼミナール日本史(浜島書店)					

学習の目標	1 日本の歴史を様々な観点の背景から考察することによって、問題点を多角的に捉える力を養います。 2 過去の日本の歩みを反省することによって、これからの日本人としての在り方を考えます。 3 政治、経済、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり	○日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立の過程や大陸との関わりについて学びます。 ○仏教の受容や遣隋使などの大陸との交流を踏まえて考察します。 ○大宝律令に基づく、統治組織・官僚制・土地と民衆の把握・税制について理解する。	中間 考査
	5月 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権		
	6月 第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家の成立 3 平城京の時代		
	7月 4 天平文化 5 平安朝廷の形成 6 弘仁貞観文化		
	8月 第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園と武士		
	9月 第2部 中世 第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 元寇と幕府の衰退 5 鎌倉文化		
2 学期	10月 第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	○藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令体制の変容の観点から摂関政治を考察します。 ○源平争乱から幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などに着目して学びます。 ○鎌倉幕府の滅亡、建武政権の成立と崩壊を踏まえて南北朝の動乱を考察し、守護大名に着目して室町幕府の機構の確立について学びます。	中間 考査
	11月 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場		
	12月 第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化		
	1月 3 幕藩体制の成立 第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化		
3 学期	2月 第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化	○鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について学びます。 ○幕藩体制下の支配体制、封建的身分秩序の形成、経済的基盤などを踏まえて学びます。	学年末 考査
	3月 1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化		
	3月 1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史について基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に判断します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の前に教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。丁寧なノートは見やすく、頭に入りやすいです。 3 各単元ごとの確認テストで、日本史における基礎的・基本的語句を確認しましょう。
-----------	--

教科	公民	科目	現代社会	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂版 新現代社会			出版社名	第一学習社	
	副教材	最新現代社会資料集 新版(第一学習社)、現代社会ワークブック(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、現代の社会と人間について理解を深めます。 2 主体的に考え、公正に判断するとともに、人間としての在り方や生き方について考えます。 3 良識ある主権者として、平和で民主的な社会を実現するために必要な能力と態度を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	第1編 私たちの生きる社会 第1章 環境と私たちの生活 第2章 資源・エネルギー問題と現代社会	○現代社会の諸問題について、自己との関わりについて着目し、現代社会に対する関心を高めます。	中間 考查	
	5月	第3章 科学技術の発達と私たちの生命			
	6月	第4章 高度情報社会と私たちの生活			
	7月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配			○青年期の意義と自己形成の課題について考え、青年の生き方について自覚を深めます。
2 学期	8月	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	○私たちの生活と政治の関わりについて考え、日本国憲法の基本原理が目指すものは何か認識を深めます。 ○国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促します。	中間 考查	
	9月				
	10月	第4章 国際政治の動向と日本の役割			○国際社会の歴史や現在抱えている課題を理解し、国際社会の一員として私たちがすべきことは何か考えます。
	11月	第5章 現代の経済社会と私たちの生活			○経済社会の問題点を理解し、経済主体としての個人や企業の社会的責任について考えます。 ○世界の経済動向について理解し、国際経済の中での日本を理解します。
12月					
3 学期	1月	第6章 国際政治の動向と日本の役割	○世界の政治問題や、国際協力の在り方について考えます。 ○生命の尊重や人間の尊厳などについて理解し、他者との共生のために必要なことを考えます。 ○よりよい社会の実現のために、様々な視点から課題を探求します。	学年 末 考 査	
	2月	第7章 民主社会に生きる倫理			
	3月	第3編 とともに生きる社会をめざして			

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とかに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業中の説明に集中し、分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞、テレビニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。
-----------	--

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2年(普通科 探究類型 文系)	単位数	3
教材	教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ			出版社名	数研出版	
	副教材	基本と演習テーマ 数学Ⅱ+B 改訂版(数研出版)					

学習の目標	1	整式、複素数、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数についての理解を深めます。
	2	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。
	3	数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	第1章 式と証明 第1節 式と計算	○式の展開、二項定理、整式の割り算、分 数式、恒等式について学習します。	中間 考 査	
	5月	第2節 等式・不等式の証明	○等式や不等式を証明するための論証の 方法を学習します。		
	6月	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	○虚数を導入することで数の範囲を複素数 まで拡張し、2次方程式の解について学 習します。		期 末 考 査
	7月	第2節 高次方程式	○剰余の定理、因数定理を用いて、割り算 における余りや高次方程式の解法につ いて学習します。		
2 学期	8月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	○数直線や座標平面における距離や内分点 ・外分点及び直線の方程式や2直線の関 係を学習します。	中 間 考 査	
	9月	第2節 円	○円の方程式を通して、直線との関係や2 つの円の関係について学習します。		
	10月	第3節 軌跡と領域	○条件を満たす図形や不等式で表される領 域について学習します。		
	11月	第4章 三角関数 第1節 三角関数	○一般角や弧度法を導入することで三角関 数を定義し、その性質やグラフの性質等 について学習します。		期 末 考 査
	12月	第2節 加法定理	○加法定理及び関数の合成を利用して、方 程式の解法等について学習します。		
3 学期	1月	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	○指数を自然数から整数・有理数・実数へ と拡張することで指数関数を定義し、そ れらの性質を学習します。	学 年 末 考 査	
	2月	第2節 対数関数	○対数を定義してその基本的性質を学ぶと ともに、方程式や不等式の解法、常用対 数等について学びます。		
	3月				

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数及び三角関数の考え方に興味をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数及び三角関数における数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数及び三角関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数及び三角関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えたりしましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。			

教科	理科	科目	生物基礎	学年	2年(普通科 探究類型 文系)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂 生物基礎			出版社名	第一学習社	
	副教材	クリア生物基礎 (第一学習社) 生物基礎実験ノート・問題集 (高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。
	2	目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。
	3	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> ○生物は多様であることを理解します。 ○生物の共通の祖先の特徴を理解します。 ○生物が共通にもつ特徴を理解します。 ○同化と異化について理解します。 ○酵素の特徴について理解します。 ○光合成と呼吸について理解します。 ○多細胞生物では、一部の細胞が増殖していることを理解します。 ○タンパク質は、多数のアミノ酸がつながってできていることを理解します。 ○遺伝子とゲノムについて理解します。 	中間 考查
	5月	第2節 細胞とエネルギー		
	6月	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体の構造		
	7月	第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報とタンパク質の合成		
2 学期	8月		<ul style="list-style-type: none"> ○恒常性と体液の種類を理解します。 ○血液凝固のしくみを理解します。 ○心臓の構造について理解します。 ○体液濃度の調節に働く、腎臓と肝臓の働きを理解します。 ○自律神経系とホルモンの働きによる体液濃度の調節を理解します。 ○自律神経系には交感神経と副交感神経があることを理解します。 ○皮膚や粘膜の生体防御を理解します。 ○自然免疫と獲得免疫を理解します。 ○アレルギーや予防接種を理解します。 	中間 考查
	9月	第3章 生物の体内環境 第1節 体液とその働き		
	10月	第2節 体内環境の維持のしくみ		
	11月			
12月	第3節 生体防御	期末 考查		
3 学期	1月	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	<ul style="list-style-type: none"> ○森林の階層構造について理解します。 ○光の強さと光合成速度を理解します。 ○植生の移り変わりについて理解します。 ○バイオームの概念を理解します。 ○世界と日本のバイオームを理解します。 ○生態系の構成について理解します。 ○生物の食物連鎖について理解します。 ○炭素と窒素の循環を理解します。 ○エネルギーの流れを理解します。 	学年 末 考查
	2月	第2節 バイオームとその分布		
	3月	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系 第2節 生態系のバランスと保全		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物、現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業は集中して臨みましょう。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識を定着させましょう。 3 分からない点については、科目担当の教員に積極的に聞きましょう。
-----------	--

教科	理科	科目	地学基礎	学年	2年(普通科 探究類型 文系)	単位数	2
教材	教科書	地学基礎 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	地学基礎新訂版演習ノート(実教出版)、改訂版リードLightノート地学基礎(数研出版)、地学学習帳(高教研理科部会地学部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら、地学の基本的な概念や原理・法則を学びます。
	2 現代社会に見られる環境問題に対して、地学的に探究する態度と能力を身に付けます。
	3 対話的な活動を通して、主体的に課題に取り組み、他者の意見を尊重する態度を養います。

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1学期	4月 1章 地球の構成と運動 1節 地球の形と大きさ 2節 地球の内部構造	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球の形・大きさの測定の仕方や構造などについて、歴史を踏まえて学びます。 ○ プレート運動に起因する地震の性質とその結果としての地殻変動に関して理解を深めます。また、火山岩や深成岩の特徴について学びます。 ○ 地形や地層、化石について観察を行い、地球の歴史を解き明かす方法とその特徴を学びます。また、生物が、地球の変化と密接な関連をもちながら進化してきたことを理解します。 	中間考查	
	5月 3節 プレートの運動 4節 火山と地震			
	6月 2章 地球の変遷 1節 地層と化石			期末考查
	7月 2節 古生物の変遷と地球環境			
2学期	8月 3章 大気と海洋 1章 大気と海洋の構造と運動 2章 大気の大循環	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大気や海洋の構造や地球を巡る大気の運動を知り、気象現象がどのようなメカニズムで起こるのかを学びます。 ○ 海洋について関心を持ち、海洋の特徴を学んだ上で、海洋と大気の関係について理解します。 ○ 地球や惑星の特徴を理解することを通して太陽系の構成について学びます。 ○ 恒星の一つとして太陽に関する知識を身に付け、星の構造や進化について理解します。 ○ 銀河系の構造や近隣の銀河との関係を学ぶことを通して宇宙の誕生からの移り変わりを理解するとともに、宇宙が膨張していることを学びます。 	中間考查	
	9月 3節 海洋の構造と海水の運動			
	10月 4章 太陽系と宇宙 1節 太陽系の中の地球 2節 太陽とその進化			期末考查
	11月			
	12月 3章 宇宙のすがた			
3学期	1月 5章 地球の環境 1節 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本列島の地形の特徴を把握し、日本で見られる自然環境がもたらす災害と恩恵について理解します。 ○ エルニーニョ現象、オゾン層のもたらす影響など、地球規模で発生している環境問題について学びます。 ○ 地球規模の気候変動と異常気象を把握し、これらの現象が人間活動と密接に関連していることを理解します。 	学年末考查	
	2月 2節 地球環境の科学			
	3月			

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
評価の観点	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、事前の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、ノート・小テスト・課題及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。			
学習へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 1 授業には集中して臨みましょう。その日のうちに復習をするとよいです。 2 問題集を活用し、知識の定着を図るとともに、定期考查に全力で取り組みましょう。 3 分からない点については、科目担当の先生に積極的に質問しましょう。 			

教科	保健体育	科目	体育	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。 2 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高めます。 3 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。 ○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。 ○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	期末考查
	5月	2 陸上競技		
	6月	3 球技Ⅰ		
	7月	4 体育理論		
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。 ○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	期末考查
	9月			
	10月	6 陸上競技		
	11月	7 球技Ⅱ		
	12月	8 体育理論		
3 学期	1月	9 体づくり運動	○ 集団行動を通して、計画的な実践、協力、責任などに対する意欲を高めます。 ○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。 ○ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について学びます。	学年末考查
	2月	10 球技Ⅱ		
	3月	11 体育理論		

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動技能	知識・理解
評価の観点	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の強力的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするために各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の四つの観点で総合的に評価します。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することによって行います。			
学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図りたくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。			

教科	保健体育	科目	保健	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	1
教材	教科書	現代高等保健体育 改訂版			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めます。
	2	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	2 単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思春期の変化について理解します。 ○ 異性との人間関係について理解します。 ○ 結婚に際して健康面から考慮すべきことを学びます。 ○ 妊娠・出産期の健康について理解します。 ○ 家族計画の意義について学びます。 ○ 加齢に伴う心身の変化について理解します。 ○ 高齢者の健康課題を理解します。 ○ 保健行政の役割について理解します。 	期末考查
	5月	2 性意識と性行動の選択		
	6月	3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康		
	6月	5 家族計画と人工妊娠中絶		
	7月	6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的取り組み		
2 学期	8月	8 保健制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健機関と医療サービスを活用するときの留意点について学びます。 ○ 医薬品の使用方法について理解します。 ○ 我が国の健康づくりの取組について理解します。 ○ 大気汚染の健康被害について理解します。 ○ 環境汚染の影響について理解します。 ○ 環境汚染の改善方法について理解します。 ○ ごみ処理の現状・課題、上下水道の整備について理解します。 	期末考查
	9月	9 医療制度とその活用		
	10月	10 医薬品と健康		
		11 さまざまな保健活動や対策		
	11月	3 単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康		
	12月	2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策		
3 学期	1月	4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動の仕組みと働き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品の衛生管理について理解します。 ○ 食品の安全ため、消費者が行うべきことを理解します。 ○ 働くことと健康の関わりについて理解します。 ○ 労働災害の原因について理解します。 ○ 職場に行う健康増進対策について理解します。 	学年末考查
	2月	6 食品と環境の保健と私たち 7 働くことと健康		
	3月	8 労働災害と健康		
		9 健康的な職業生活		

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

評価の方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の三つの観点で総合的に評価します。学年末の成績は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。
-------	--

学習へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 1 授業で学習した内容を積極的に日常生活に取り入れるように心掛けましょう。 2 保健や健康についての新聞やニュースに気を配り、日頃から健康について関心をもつようにしましょう。
-----------	--

令和2年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年	2年(普通科 探究類型)	単位数	4
教材	教科書	Power On English Communication II		出版社名	東京書籍		
	副教材	WORD-MEISTER 英単語・熟語3000 (第一学習社)、即戦ゼミ8大学入試基礎英語頻出問題総演習 (桐原書店)					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 物語や説明文などを読んで、情報や書き手の意図を理解したり、要点を把握する力を伸ばします。 3 日常的话题について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Lesson 1 Take a Shot or Not	○写真を撮ることが記憶に与える影響と写真を撮らずに経験を記憶にとどめておく方法について学びます。	中間 考査 期 末 考 査
	5月	Lesson 2 Ethical Fashion	○エシカルファッション製品が何に配慮して作られているかを学び、エシカルになるために重要なことについて学びます。	
	6月	Lesson 3 Landfill Harmonic	○ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子どもたちにもたらしている影響について学びます。	
	7月	Lesson 4 Icons of Scotland	○スコットランドの地理やキルトに関する歴史を理解するとともに、日本と関連する事柄について学びます。	
2 学期	8月	Lesson 5 Japan's Secret Health Food	○海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について学びます。	中間 考査 期 末 考 査
	9月	Lesson 6 Vegetable Factories	○野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について学びます。	
	10月	Lesson 7 The Power of Color	○身の回りで使われている色の視覚的効果と心理的効果について学びます。	
	11月	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	○平野美宇選手と伊藤美誠選手の経歴や、彼女たちが成功するために大切だと考えていることについて学びます。	
3 学期	1月	Lesson 9 From Owning to Sharing	○カーシェアリングの利点と、シェアリングが日本や世界でどのように広まっているかについて学びます。	学 年 末 考 査
	2月	Lesson 10 Solar Cooking	○ソーラークッカーの仕組みと歴史、メリット、活用例について学びます。	
	3月			

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

評価の方法	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。
-----------	---

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年	2年(普通科 探究類型、教養類型)	単位数	2
教材	教科書	Revised BIG DIPPER English Expression II		出版社名	数研出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理的に書く能力を養います。 3 日常的话题について、自分自身の考えなどを整理して英語で発表する姿勢を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 Lesson 1 School Festival Lesson 2 A Trip to Sapporo Lesson 3	○学校生活・旅行予定に関する表現を学びます。	中間考查 期末考查
	5月 My Dear Friend Lesson 4 Online Shopping Lesson 5 A Dog in a Barbershop	○友達に関する表現を通して、現在完了形の表現を学びます。 ○買い物・思い出に関する表現を通して、過去完了形などの表現を学びます。	
	6月 Lesson 6 A Favorite Saying Lesson 7	○名言に関する表現を学び、自分のお気に入りの名言を発表します。 ○世界に紹介する日本食を発表します。	
	7月 Japanese Food Lesson 8 Visiting Spain	○スペインの紹介文を読み、日本の紹介文を発表します。	
	8月 Lesson 9 Volunteer Activities	○ボランティア活動を実施することで、何をえられるのかについて考えます。 ○自分の将来について考えます。	
	9月 A Stage Actor Lesson 11 I Like Singing Lesson 12 Cycling	○自分が誇れる事について考えます。 ○自分の趣味について発表します。 ○比較の表現を使って発表します。	
	10月 Lesson 13 My New Hiking Boots Lesson 14 The Yangtze River	○日本の誇れる場所を比較の表現を使って発表します。	
2学期	11月 Lesson 15 My Sister's Job Lesson 16 In Seattle Lesson 17 Taking Notes	○家族の職業について関係代名詞を使って表現します。 ○自分のお気に入りの場所を関係副詞を使って発表します。 ○効果的なノートの作成をペアで考えて発表します。	中間考查 期末考查
	12月 Lesson 18 Dreaming of Space Lesson 19 An Android Like You	○仮定法の表現を使って表現します。 ○人造人間がいれば、どんなお願いをするのかを考えます。	
	1月 Lesson 20 I Left My Smartphone Lesson 21	○スマートフォンの重要性について考えます。 ○生徒会について考え、積極的に参加するにはどうすればよいのか考えます。	
	2月 Student Council Election Lesson 22 Think Green	○環境問題について、グループで考え、発表します。	
	3月		

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	/	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習、復習を行い、積極的に声に出して音読しましょう。 2 板書事項は確実にノートに書き留め、重要な所が分かるノート作りをしましょう。 3 表現に必要な基本的な語彙、語法、構文を身に付けましょう。
-----------	---

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	2年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 新版 家庭総合 ともに生きる・持続可能な未来をつくる			出版社名	第一学習社	
	副教材	家庭科ノート(愛媛県高等学校家庭科教育研究会)					

学習の目標	1 家族や生活の営みに関する知識や技術を総合的に習得します。 2 学習した知識や技術を生活に生かし、各自の生活課題を主体的に解決する態度を育成します。 3 家族や社会との共生を創造し、家庭生活の充実向上を図る能力を育てます。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 7章 装う 1節 人の一生と被服 3節 被服材料と管理 5月 被服材料の種類と特徴 2節 被服の制作 被服製作実習 ハーフパンツ 6月 7月 10章 生活の充実・向上を目指して ホームプロジェクトの説明	○被服の役割を知り、暮らしとの関わりを学びます。 ○被服材料の種類と性能を学びます。 ○被服製作に当たって必要な技術を習得します。 ○生活の中の課題を発見し、解決する学習をします。	期末考查
2学期	8月 ホームプロジェクトの発表 7章 装う 3節 被服材料と管理 9月 被服の手入れと保管 2章 次世代をはぐくむ 10月 1節 子どもの発達 2節 親の役割 11月 保育体験実習 12月 3節 子育て支援と福祉	○被服の特徴に応じた適切な洗濯・仕上げ・保管等ができるようにします。 ○衣生活の課題を知り、適切に管理できるようにします。 ○子どもとその周囲の関わり大切さを学びます。 ○保育体験を通して、子どもと適切に関わることができるようにします。 ○子どもを取り巻く環境と課題について学びます。	期末考查
3学期	1月 8章 住まう 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択 2月 3節 これからの住生活 3月 9章 生活をデザインしよう	○住居の機能と住生活設計、住環境の整備について理解します。 ○健康で安全な住まいについて学びます。 ○地球環境や近隣に配慮し、充実した住生活が営めるようにします。 ○人生すごろくを通して、将来の生活をデザインします。	学年末考查

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
評価の観点	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて見直し、生活課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。

評価の方法	定期考查の得点と平常点で算出します。平常点は、ノート、課題、ハーフパンツ及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 実習が多くあるので、欠席をしないで意欲的に取り組みましょう。 2 板書を写すだけでなく話をよく聞き、理解に努め、自分の意見を持ちましょう。 3 学んだこと、経験したことは日常生活でも実践してみましょう。
-----------	---